

夢のかけはし



鹿屋から世界を目指して走る!!

平成18年鹿屋市生まれ。4歳でバイクを始めて以来、数々のタイトルを獲得し、ポケットバイクの世界では「レジェンド」の異名も。名前の「郡」は、バイク漫画「バリバリ伝説」の主人公の名前である「巨摩郡」に由来。西原小学校6年。(12歳)

バイク好きの父に勧められ、4歳から始めたバイク。週末になると、ほぼ毎回、練習に向かいます。練習と言っても、近くにサーキット場が無いので、練習場所はもっぱら市外・県外のサーキット場です。レースシーズンの3月から9月までは、月1、2回のペースで全国各地の大会に出場します。大会に出場するには自分だけでなく、バイクも持っていかなければなりません。そのため大会への移動手段はいつも車です。車にバイクを乗せ、運転する父と僕、そしてバイクをやり始めた5歳の弟の3人で開催地に向かいます。開催地が、さいたま市の「サーキット秋ヶ瀬」や、三重県鈴鹿市の「鈴

鹿サーキット」だと、途中寝泊りしながらの長旅です。僕が出る大会は、サーキットコースをオートバイで周回し、そのタイムを競う「スプリントレース」。これまでで一番うれしかったのは、まだ幼稚園児だった6歳の時、秋ヶ瀬で行われたポケットバイク（通称「ポケバイク」）の大会「ダイジローカップ」で、これまでの最速記録を更新し、最年少で優勝したことです。この優勝があったからこそ、今もこうして続けているのだと思います。平成28年にはポケバイクの日本一決定戦で優勝、翌平成29年には、ポケバイクより少し大きい「ミニバイク」の全国大会でも優勝を収め

バイクレーサー み え ぐん さん 彌 榮 郡

今年からは更にその上の「レーサーバイク」に挑戦し、「九州ロードレース選手権」の第2戦と第5戦で優勝。これらの成績が評価され、8月にはタイ王国で開催された国際レースにも特別に参加させていただきました。時速200km以上が出る世界。1つ判断を間違えば大けがになるので、常に恐怖心を持っています。ただ大差を付けて勝つ快感はたまりません。楽しんで大会に臨むと、不思議と好タイムが出るのです。目指すは全日本チャンピオンと世界大会出場。今後も、ここ鹿屋から、目標に挑戦し続けていきたいと思っています。



【右】今年、大分県日田市「オートポリス」で行われた「九州ロードレース選手権」では2度優勝を収めた。(写真は第2戦)
【左】車にはバイクと関連部品がぎっしりと積み込まれている。

11月20日(火) 9時5分からFMかのやに彌榮郡さんが出演